

(参考様式3)

会 議 録

会議の名称	令和2年度第5回 東村山市地域包括ケア推進協議会				
開催日時	令和3年2月15日(月) 午後6時40分～午後7時30分				
開催場所	東村山市役所 いきいきプラザ3階 マルチメディアホール				
出席者 及び欠席者	●出席者： (委員) 山路憲夫会長・黒木委員・(森川委員)・永嶋昌樹委員・水越久吉委員・萩原明委員・葛野章委員・石橋歌子委員・戸部牧子委員・武川眞理枝委員・岡本友子委員・池本昇委員・新村逸男委員・亀井俊治委員・磯部建夫委員・水野剛委員 (市事務局) 花田一幸健康福祉部次長・江川裕美介護保険課長・大森裕登介護保険課長補佐・関口香給付指導係長・橋尚紀認定係長・吉村和樹給付指導係主任・津田潤健康増進課長・小池秀征健康増進課長補佐・國友良平健康寿命推進係長・山岸光香高齢者支援係長・新井泰徳地域福祉推進課長・羽生孝明計画担当主査 ●欠席者：3名				
傍聴の可否	傍聴可	傍聴不可 の場合は その理由		傍聴者 数	0人
会議次第	1. 開会 2. 議題 (1) 次期地域包括ケア推進計画(第8期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画)最終案について 3. その他 医療介護連携に関する検討状況について(報告) 4. 閉会				
問い合わせ先	健康福祉部介護保険課企画保険料係 担当者名：大森 電話番号：042-393-5111(代表)内線3133 FAX番号：042-395-2131				
会 議 経 過					

## 1. 開会

## 2. 議題

(1) 次期地域包括ケア推進計画（第8期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画）最終案について

資料1に基づき、事務局より説明が行われた。

### ○会長

ただいま事務局から、次期地域包括ケア推進計画（第8期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画）最終案について説明があった。資料2も含めてご意見、ご質問があればお願いしたい。

### ○委員

64 ページ④介護人材の確保・育成の推進について、新たな職員を養成することも大切だが、潜在的有資格者、例えば介護福祉士であれば有資格者の30～40%は介護の職に就いていないと言われている。市内で計算すると、市内の介護福祉士は約1280人いると思われるが、その30～40%が介護の職に就いていないと考えられる。新たな人の発掘だけでなく、実際に資格があり、過去に介護職員だった方で仕事をしていない方などが復帰出来るような支援の記載があるといいのではないかと。98ページのケアマネジメントについて、居宅介護支援・介護予防支援となっているが、厳密に言えば、介護保険のケアマネジメントには施設のケアマネジメントも入っているので、居宅と介護予防だけにしてしまうと誤解を生むのではないかと。介護予防サービス計画、居宅サービス計画と、施設サービス計画があるので、施設についても記載がある方がいいのではないかと。100ページに団塊の世代の説明があるが、どこかのページに「団塊的な世代」「団塊ジュニア」という言葉もあるので、それもあわせて説明があるといいのではないかと。「地域共生社会」という言葉について、地域共生社会という言葉が昔からあったように思いがちだが、これは厚労省が作った言葉なので用語集に入れた方がいいのではないかと。

### ○会長

ただいまの意見についてご検討いただくことでよろしいかと。

### ○事務局

検討させていただきます。

### ○会長

介護福祉士の資格がある方々に介護の仕事に就いていただくための具体的なプランについてはどうか。

○事務局

他の市町村でどのようなことをやっているかは把握していないが、説明会や相談会等があると思う。

○会長

市町村単体では難しいのではないかと。具体的に良い方法はあるか。

○委員

介護職員は地域の地元に住んでいる方が多いので、本来は市町村でやるのが個人的にはいいと思う。

○事務局

現在市では、社会福祉協議会や都と協力し、福祉の仕事について面接相談会を実施している。今年度はちょうど一昨日実施しており、社会福祉協議会を中心に動いていただいた。実際にはコロナ禍で事前予約制となり、例年に比べて参加者は少ないが、一方で参加してくれた方についてはかなり積極的に事業所とマッチングをしたという話を伺っている。また市独自の対応についてもご提案をいただいたので、次期計画で検討して動ければと思っている。

○事務局

看護師は、再就職をする時に技術的なことが不安なので、看護協会等で復帰に向けての研修を行っている。介護職員についても、マッチングだけでなく、研修等が必要ではないか。研修を行っている自治体はあるのかお聞きしたい。

○委員

具体的なところは把握していない。介護の現場も色々状況が変わってきているので、介護業界の復帰する人のためにも研修等があった方がいいと思っている。

○会長

資料2について、令和3年度の予定に「かかりつけ医の充実強化を図る」と記載があるが、これについては賛成である。何か調査があったのか。

○事務局

市では、今年度医療機関向けにニーズ調査を行い、その中からいただいた回答の内容を分析し、医療機関がどのような情報を欲しているのか、何に困っているのか調査検討を行った。現状かかりつけ医も含めた医療機関がどのようなことを望んでいるのか、それに対してどのような施策をしていくことが望ましいのかを対応していくことで、かかりつけ医の充実に結びつくのではないかと考えている。医療介護連携推進委員会の委員長と調整をさせていただき、医師会としても働きかけを行うと話を伺ったので記載をさせていただいた。

○委員

59 ページ②に「地域福祉権利擁護事業」の記載があるが、それについての注釈があると有難い。「市民後見人」や「成年後見等報酬費用助成制度」についても、どのくらいの実績があるのか、市民の方がどの程度知っているのかわからないので、市民の方にわかるような実績の記載があるといいのではないか。

○事務局

注釈の掲載については所管と検討させていただく。市民後見人の活用については、市民後見人の要請自体は進めており、市民後見人の候補者の育成は2年単位で行っている。1年目は座学を行い、2年目は社会福祉協議会で半年間の実務研修を受け市民後見人になっていただく。現時点で8名候補者がおり、実際に受任いただいているのは3名である。今後も社協と協力して進めていきたいと考えている。成年後見人の相談についてはここ5年間で増加しているので、適切な周知や案内が出来ているのではないかと考えている。

○委員

本日たまたま相談されたので案内をしてきたところである。知らないことが多いので、制度等の内容の説明はできないが、民生委員からも私の地域では案内をしている。

○委員

高齢者の特殊詐欺被害が多くなっているので、チラシを作成し配布をしている。最近では15件発生しており、昨年は年間74件、1億5100万円被害が出ており、今年はずでに1800万円程被害が出ている。手口としては、東村山警察署の警察官や市役所の職員を名乗った電話で騙されている。騙された高齢者のほとんどが自分は騙されないと思っている。犯人側も色々な情報を知っているので、電話でお金の換金やキャッシュカードの暗証番号の話が出たら110番していただきたい。電話に出ると騙されてしまうので注意喚起が必要である。

○委員

新型コロナウイルス感染症が始まってから特にパトカーでパトロールをしていると思うが、道から一歩入ると、何かを言っていることはわかるが聞きとれない。せっかく広報されているので、もっとゆっくり走ったり、停車して広報していただけるといいのではないか。友人に、朝7時過ぎに警察と名乗る人が訪ねてきて、家にあがったという話を聞いた。

○委員

昨年ガス点検を装う強盗事件があったが、今年に入って不審な点検業者を装った訪問者の連絡は受けていない。

○委員

制服は着ていたが、警察手帳の有無はわからないようである。

○委員

むやみに中に入れずに、ドアロック越しにしていきたい。

○事務局

補足として59ページ①の「消費生活相談担当所管」の記載について、東村山市には市民相談・交流課という課があり、そちらの所管と連携し、今後高齢者への詐欺被害防止等の普及啓発を行う予定である。

○委員

最近、市からの必要な電話も出てくれないので困っている。電話に出るなという啓発ではなく、なるべく留守番電話を導入するような啓発を行っていただきたい。

○会長

無料で留守番電話を入れるサービス事業があるようだが。

○委員

留守番機能が付いている電話で留守録を設定するのが一番効果的な防止策である。犯人は自分の声を聞かれるのが一番嫌がる。

○会長

市の方で留守電設定を広めることは出来ないか、検討していただきたい。

○事務局

所管課と確認し連携していきたい。

○会長

第8期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の最終案の決定と、資料2について承認することよろしいか。

(異議なし)

### 3. その他

○事務局

誤字脱字等も含めて、今週中に意見をいただければ修正は間に合うのでご意見いただきたい。FAX や電話でも構わない。

### 4. 閉会

